

日本カーバイド工業グループ責任ある鉱物調達方針

私たちは、世界で取引されている鉱物資源の中に武装勢力の関与や深刻な人権侵害、環境破壊が指摘される高リスクに対して、日本カーバイド工業グループは責任ある鉱物調達に取り組んでいきます。

私たちは、こうした鉱物問題を重要な社会課題であると認識し、紛争地域および高リスク地域における紛争や人権侵害等への関与が明らかな鉱物の調達をしないことを基本的な考えとします。

購買部門では、サプライヤーの皆様に対して、グリーン調達ガイドラインやサステナブルな調達に関わるアンケート等を通じて、本課題に共有の取り組み状況の把握を実施します。

また、調達活動を通じて紛争や人権侵害を助長することの無いよう、下記の取り組みをお取引先様と共にを行います。

<鉱物調査の実施内容>

1) 紛争鉱物（スズ、タンタル、タングステン、金）が製品中に含まれる場合、コンフリクトフリー精錬業者（CFS Conflict Free Smelter）認証を受けた精錬所製のものを使用した原材料、資材を使用するようリスク低減に向けた対応をサプライヤーの皆さまへ要請します。

2) コバルト、天然マイカ等の鉱物を高リスク地域（CAHRAs）から調達している場合、OECDガイド Annex II に記述されているリスク（児童労働を含む人権侵害、資金洗浄等）の有無の調査を要請します。

また、対象となる鉱物と産出地域に関しては、定期的に法規制等の情報を確認し、鉱物調査の範囲を見直します。